

兵庫山岳

昭和43年7月12日第三種郵便物認可

平成28年8月1日(月)
第590号 (毎月1日発行)

発行所 兵庫県山岳連盟
神戸市灘区王子町2丁目王子公園内
電話・FAX (078) 801・3267

定価1部 50円年間購読料1000円
兵庫県山岳連盟会員は会費に購読料を含む
©編集兼発行人 伊藤一雄

日山協・遭対委員会総会及び研修会 技術遭対委員長 一本松文夫

六月二十五日(二十六日)、埼玉県民活動総合センターに於いて開催されました。初日は長野県山岳観光推進員、原一樹氏の講演会、演題は「山のグレイディングについて」。

六月十一日研修会が開催され、以下内容を記します。
・二〇一六年四月一日より資格更新義務研修が都道府県体協が行うエンジョイスポートでも可となった。
・二〇一六年一月一日よりアルパインクライミング資格とスポーツクライミング資格が分離され別資格となり、両資格保有者はマルチ資格保有者となる。
・山岳指導者：スポーツクライミング指導者の更新研修は一回受講すれば両資格とも更新となる。
・平成二十七年より、日山協の指導委員会と遭対委員会との交流を図るべく、常任の合同会議を開催する事になり、日山協独自の資格として「夏山リーダー」の資格制度を立ち上げる事となった。
「夏山リーダー」資格作成の目的
山岳技術の習得、一般登山者の技術の底上げ、リーダーの養成。個人資格とし、対象は一般登山者で、自立した登山者の育成する。
・テキスト、講習会等

日山協・指導委員会総会及び研修会 指導委員長 西村良信

標準的テキストの作成をし、どこでも同一内容の受講が可能な内容とする。
六月十二日(日)指導委員会が開催され、平成二十七年指導委員会事業報告および平成二十八年事業計画が提示された。
平成二十八年事業計画
・氷雪技術研修会
富士山(実施済み)
谷川岳 平成二十九年二月四日(五日)
大山(A級主任検定員・上級指導員養成講習会)
平成二十九年二月十八日(十九日)
指導・遭対合同研修会 神戸
奈川県平成二十八年七月十六日(十八日)
・登攀技術研修会(A級主任研修員・上級指導員) 長崎県シーハット 平成二十八年十月一日(二日)
・指導常任研修会(平成二十九年年度の計画その他) 東京都山岳連盟事務所 平成二十八年十二月一日(二日)
以上が報告されました。
※詳細は山岳連盟ホームページを参照願います。

遭難件数が四年連続史上最多記録の長野県で新たな取り組みとして、長野県内の一般的な登山ルート(102ルート)を「体力度」と登山道の「難易度」で評価。体力度は鹿屋体育大学の山本教授による登山ルートと消費カロリーとの関係から導き出された「ルート定数」から体力度を1〜10のランクに、難易度は長野県警救助隊、地区遭対協、山岳団体関係者によってA〜Eのランクを付け、登山ルートに表示し、自分の力量にあった山を選ぶようにした。岐阜県岳連遭対からも同様の「山のグレイディング」が記載された登山地図が作成された旨の報告があった。

翌日、青山日山協遭対常任副委員長による事故報告、日本山岳サーチ・アンド・レスキュー研究機構(SAR)及びUIAA報告。SARで整理した膨大な事故データを各県ごとにまとめ、希望する各岳連遭対に提供、有効に活用できるようにした。兵庫県のデータは事前に頂き、読み解き、有効な活用法を総会で報告した。

過日開催されたSAR「登山倫理シンポジウム」、登山倫理の基礎(登山者のモラルならびにリーダーのあり方)、アクセスならびに登山道関連問題(入山料、入山制限、登山届、入山権利、登山道のグレイディング)、自然保護(入山の制限やオーバーユース、トイレ問題)を巡ってシンポジウムがなされた報告があった。

お食事・各種ご宴会に

Gourmet Promenade グルメプロムナード SINCE 1997 IN KOBE

各線三宮駅すぐ神戸交通センタービル

10F 日本各地から取寄せた旨い物と名酒に出会える レストラン&BAR	備長炭の本格炭火焼 厳選されたこだわりの素材をご準備下さい。 炭火焼 博多水炊き	大正六年創業の名門料亭の味わいを 日本料理	鉄板焼きパフォーマンスを楽しみながら神戸牛を堪能してください ステーキハウス	六甲山系を望みながら海の見えるレストランで地元食材を堪能!! 地産地食ダイニング	ていねいに抽出した珈琲が自慢のカフェテラス 喫茶
-------------------------------------------	------------------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------------	---------------------------------------------	-----------------------------

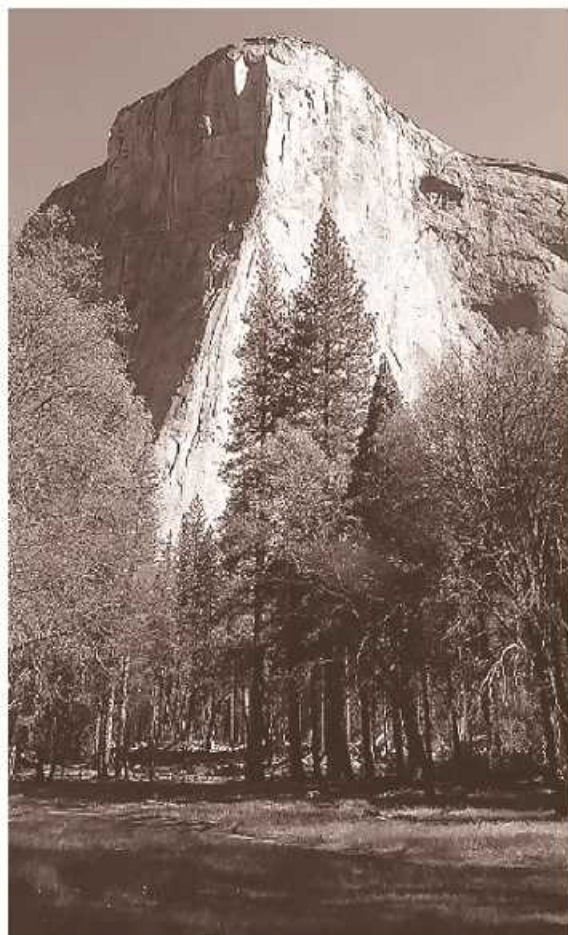
TEL.078-331-1233 TEL.078-325-1235 TEL.078-333-0678 TEL.078-392-2989 TEL.078-332-2831 TEL.078-391-4057

登山計画書は必ず提出しよー!

エル・キャピタン「ノーズ」登攀記

丹波山岳会 村上 和広

①



ヨセミテ・エルキャピタン

数年ぶりに見上げたエル・キャピタンは、白く輝き、とても大きく見えた。ヨセミテ溪谷の谷床から約1000mの高度で立ち上がっていて、花崗岩の一枚岩として世界最大である。

このGW(2016年4月29日~5月8日)を利用して、アメリカ・カルフォルニア州にあるヨセミテ国立公園のエル・キャピタン「ノーズ」にトライしてきた。

同行者の田村(大阪ぼっば会)と後藤(山の会カラנקルン)は3日間先行して、4ピッチまでをフィックスしてくれている手筈で、無事、夜2時にキャンプ4にて合流できた。(文中以後敬称略)

到着の翌日(4月30日)は、

時差ボケ解消も兼ねて、レストとさせて貰い、各自トレッキングに行ったり、ボルダリングをしたりして、昼過ぎには合流しシャワーを浴びに行き、買い出しをした。夕食はアメリカらしくステーキ、サラダ、スープ、トルティーヤ、ビールをがつつく。明日から4日間はまずまずの好天予報で、明日、昼過ぎに一時雨の予報があるくらいが不安材料だ。明日のゴアアップに備えて早めに就寝。

登攀1日目(5月1日)

翌朝は3時に起きて、朝食をとり4時過ぎにはエル・キャピタンの基部へ。まずは、フィックスした4ピッチのユマリーングから始まるが、1ピッチは丸々50mあって、4

ピッチ終わる頃には既に腕が張ってしまう。しかし、ここからビッグ・ウォールのスタートだ。

一般にビッグ・ウォールでは、リードが荷揚げとセカンドのロープを引っ張って登り、ビレイ・ポイントに着くと、リードが荷揚げを開始、セカンドとサードはフィックスされたロープをユマリーングし、セカンドがビレイ点に着くと荷揚げの補助もしくは荷揚げが終わっていけば、リードのビレイに入るというパターンは繰り返して、頻繁にリードは交代しない。

「ノーズ」はエル・キャピタンの中央を登るルートで、この大岩壁の初登ルートであり、一番複雑することでも有名なルートでもある。

ここには、3カ所の困難なピッチがあって、「キング・スイング(17P)」、「グレイト・ルーフ(22P)」、「チェンジン・グ・コーナー(27P)」がそうだ。(P:ピッチ)

全ピッチで31ピッチあり、通常、荷揚げをしながら2泊もしくは3泊して登攀する。

荷物はホルバックに入れ、飲み水、食糧をはじめスリーピングバッグ、マット、防寒着などで約40kgになる。そしてエル・キャピタンでは大抵は持ち帰るといふルールに

なっている。

「シックル・レッジ(4P終了点)」にデポしてあった荷物は無事で、後藤がリード、セカンドが村上、サードが田村の順で登りだす。先行者や後続もいず、静かなエル・キャピタンだ。

順調にピッチを伸ばしてゆく。直ぐに、4~5mのトラバースが2箇所出てくる。リードは振り子、セカンド・サードはセルフ・ローワーダウンなどで対応するが、ホルバックはテンション・リリースしないと衝撃で水ボトルが破裂して、敗退とも為りかねない。セルフ・ローワーダウンに時間がかかったり、安易にトラバースすると捻挫したりと多くのパーティーがここで節にかけられるようだ。

みんなビック・ウォールは初めてだが、2月から1週間おきに3人で話し合っただけを練習し、不安や疑問点を一つずつ解消していった。時間は掛かったが結果的にとても良い練習になったと思う。

順調に高度を稼いでゆく。「ストロブレッグ・クラック(9P)」を登り、10、11ピッチを繋いで60mを一気に登り終わると「ドルト・タワー(11P終了点)」に到着した。

ここでリードを村上に交代。少し雨に降られるが、30分

くらいで降り止む。そして、13ピッチ目は難しくはないが、#3~#4番サイズが続き、奥の方でカムが回収出来ずカムの墓場になっているので、ユマリーング時にクラックにロープが入らないよう捌いておく必要がある。

交代後3ピッチ登って、「エル・キャップタワー(14P終了点)」に到着した。18時くらいに着いたので、まだまだ明るく田村が「テキサス・フレイク(15P)」にフィックス・ロープを張りに登る。

グレイドこそ50だが、途中にボルトが1本あるだけの幅広チムニーで、墜落は許されない。結構怖いと聞いていたが、割とすんなりリードをこなしてフィックス完了し、今日の行程はこれで終了。

「エル・キャップタワー(14P終了点)」は横長で広さ3畳ほどのテラスで傾斜もなく快適そう！メインロープをフィックス・ロープにしてギアや装備は落とさないよう片端から掛けてゆく。

夕飯は、アルファ米とカップラーメンのリフィル、インスタントコーヒーとお茶。ゆっくりと日が沈むのを眺めながらの贅沢な夕ご飯だ。3人も疲れていて、ハーネスにメインロープを付けたまま直ぐに就寝。(次号に続く)

便利で大変リーズナブルな多目的貸し会場
阪急王子公園駅から徒歩3分

緑の中のミーティングルーム
王子サロン (神戸登山研修所)

神戸市灘区王子町2-2-1 王子公園内(競技場北側)
TEL・FAX(078)-801-3267 <http://www.hma.jp/>

次に登る日を、もっと好い日に。
好日山荘 & GRAVITY RESEARCH

好日山荘 神戸本店 ☎:078-265-2045	好日山荘 姫路駅前店 ☎:079-280-5520	好日山荘 明石大久保店 ☎:078-938-2010
GRAVITY RESEARCH KODE ☎:078-855-8043	GRAVITY RESEARCH HIMEJI ☎:079-280-7520	GRAVITY RESEARCH AKASHI ☎:078-938-2010

自然観察山歩 二十歩渡りから桜谷西尾根を辿る

普段歩かない隠れたコース

六月二十六日(日)

前日の雨が嘘のような晴天の中、新神戸駅前に九時に集合し、スタッフ五人を入れると七十四人の大所帯となった。前日の雨による水量増加で二十歩渡りは困難と判断し、黒岩尾根と桜谷西尾根との合流点から桜谷西尾根のピークを踏む事に変更した。

布引川を渡り、雌滝・雄滝で水量を確認しながら登り、徳光院北西の展望所はパスし、貯水池で休憩後に市ヶ原を目指す。

桜茶屋でトイレ休憩し、天狗道分岐を過ぎ沢に降りて黒岩尾根分岐を右折するが、二十歩渡りから引き返す登山者と出会ったので、判断が良



かったと思う。

何年か前に登った時もあったが、この尾根は長く登り降りが多いため、けっこう時間をかかるといえる。六〇六Mのピークを過ぎた後の鞍部の湿地帯で休憩し、登り返した左手に保安林の標識がある。

ここが、桜谷西尾根出合であるので、左折し六五九Mのピークを踏む。

黒岩尾根に戻り、アドベンチャールート分岐を過ぎたテラス広場で昼食休憩とする。

昼食休憩後に環境省の高橋アクティブレンジャーから国立公園内の各種施設の維持管理は地元自治体やボランティアの協力で成り立っている事や八月十一日の山の日の制定に向けた環境省のHP「山に

でかけよう」の説明があった。なお、兵庫県の山としては、六甲山と雪彦山を推薦する筈を吉野普及委員長が説明された。又藤崎理事からは地図の見方や沢の左股・右俣について貴重な講義を受けた。

掬星台で休憩し、ロープウェイ・バス組と別れた本隊は、旧摩耶天上寺跡から青谷道を辿り、市街地に降り立った。

(自然保護副委員長

日野 幸次郎)

比良山明王谷、沢登り講習会に参加して

六月二十六日(日)、前日の

大雨から一転、梅雨の中休み状態が快晴となり、講師三名+受講生五名のパーティで滋賀県比良山系坊村に二時間弱で到着。

駐車場横から即、入渓できます。

以前にも来たことのある明王谷ですが、前日の雨で谷は増水しており、低水温にひざ上の流れもきつく、これまでの沢とは全く違う沢の状態です。

対岸への徒渉もぎこちない歩きで水圧に押し流されそうです。体を斜めに構えて上流に行こうとしても進みません。

皆さんの後をなんとかついてゆく。石の上を歩けば、バランスを崩し、水に浸かりながら、へつりでは濡った足元が見えず、時には泳いで渡りました。

滝に邪魔されていよいよ高巻きしなければならぬ時がきました。フィックスロープセットしていただき、ブルージックノットで結び、滑りやすい急斜面を攀じ登ります。

終了点ではすぐにセルフビレーをとり、後続を待ちます。次はエイト環を使用しての懸垂下降です。寒さと怖さで体

の震えがとまりませんでした。

四時間の行程で、二の滝の手前まで行きましたが、増水で徒渉ができないのと時間切れで撤退を決定。左岸の林道にエスケープできるルートを探しながら下り、堰堤の場所から百mもの岩壁をブッシュや草付きを掴みながら登り返しました。緊張しながらも時にはほっとしたお茶タイム。とても楽しく充実した一日となりました。

沢登りは毎回同じ状況ではなく、水量によっては違うルートを進んだり、大きく高巻きすることも余儀なくされます。グレードも当然変わります。ルートファインディング、クライミング技術は必須です。

今回は事前のレスキュー講習会で学んだことが、実践で役立ち、心に残る貴重な体験をさせていただきました。登山をしてゆくなかでこれから身に付けなければならぬことは多々ありますが、一歩ずつ冒険心を持ちながら楽しみたいと思います。

サポートしていただいた講師、仲間の方々にお世話になりました。本当に有難うございました。次回は周囲の景観も目に

するぐらいの余裕を持って参加ができるようになりたいです。
(受講生 竹中 優子)

ネパール・トレッキング
SANSUI社の招待募集

ネパールトレッキングでお世話になった現地旅行社サンズイが十月にカトマンズにホテルを開設されることになり、過去にネパールトレッキングに参加された方をオープンニング記念にご招待したい旨の申し入れがありました。

この申し入れに対して海外委員会では次の通りネパール訪問を計画しました。

日程 十月十七日〜二十三日まで。
費用 関西国際空港〜カトマンズ航空運賃
約九万七千七百五〇円及びビザ代二十五\$ (有料)
ホテル宿泊代十八日〜二十一日迄四泊無料、食事代も無料。

この計画に賛同される方は山岳連盟までご連絡下さい。別途にホームページにも記載しています。

詳細日程は参加者が決定次第連絡致します。

(海外委員会)

(海外委員会)

貴重な自然を守るために

私たちが胸ときめかせる喜びと感動を受けた大切な自然を末永く伝えるためと爽快感と充実感のある山登りを神戸ザックは応援します

オリジナルザック & 登山用品専門店

神戸ザック TEL (078) 621-5851 FAX (078) 621-3528

http://www.h2.dion.ne.jp/~kobezac



IMOCK KOBE

神戸市長田区日吉町3丁目1番30号 7653-0039 カナゾノビル2F

世界の山旅・辺境の旅 カタログご請求ください

お一人参加でも安心のパッケージツアーから、お仲間でご企画するオーダーメイドツアーまで。お気軽にご相談ください。



〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海軍ビル4階 ☎03-3503-1911
大阪 ☎06-6444-3033 名古屋 ☎052-581-3211 福岡 ☎092-715-1557
e-mail: info@alpine-tour.com http://www.alpine-tour.com

美しい自然、大切な自然を子孫に伝えよう

山の日制定記念

六甲全山縦走大会・実施要項

「歩くスポーツの祭典」

六甲全山縦走大会は今年で第四十二回を数える。

参加者も神戸市民・兵庫県民は言うまでもなく、全国各地から山歩き好きの仲間が集い、親善交流大会に発展してきている。

本年から八月十一日が「山の日」として国民の祝日になります。山に親しむ機会をえて、山の恩恵に感謝すること趣旨として、制定されました。

申込受付期間 八月十八日(木)～二十九日(月)

*二回開催のうち、どちらか一回のみの申し込みで、重複申し込みはできない。

グループ申し込みの方法

四名までのグループ申し込み可能。但し、申し込み手続きは各人必要。

問い合わせ先

JTBスポーツ

ステーション内

KOBE六甲全山縦走大会事務局

電話 〇六―六二五二―四〇〇九

FAX 〇六―六二五二―四〇一五

Email:jtbss@west.jtb.jp

URL:http://jtbssports.jp/

申込み先

インターネット申し込みの場合、事前にJTBスポーツステーションへ会員登録が必要。

受付期間中に参加申し込みが必要なことは言うまでもない。

(https://jtbssports.jp/)

なお、葉書申し込みの場合は大阪市中央区南久宝寺町3・1・8本町クロスビ

町3・1・8本町クロスビ

町3・1・8本町クロスビ

町3・1・8本町クロスビ

町3・1・8本町クロスビ

町3・1・8本町クロスビ

町3・1・8本町クロスビ

町3・1・8本町クロスビ

町3・1・8本町クロスビ

みんなで歩こう 緑の山を！ 神戸市民山の会のお知らせ

第818回例会

国宝【桜ヶ丘銅鐸】

出土地を巡るコース

▽開催日 8月21日(日)

▽集合 六甲ケーブル下駅 午前9時

▽コース 六甲ケーブル下

▽駅高羽道→坊主山東道→

ル七階

(株) JTB西日本M I C

E事業部K O B E六甲全山

縦走大会事務局に申し込み

下さい。

必要記入事項

参加希望日、参加者氏名、

フリガナ、性別、年齢、生

年月日、郵便番号、住所、

自宅電話番号、携帯電話番

号、血液型、血圧(最高・

最低)、参加回数、当日緊急

連絡先、区分(市内在住・

在学・在勤・以外)、参加同

意署名、

グループ抽選を希望する場合

同行の方々の氏名(本人

を除き三名まで)を記入、

同行の方が申し込み者との

グループ抽選を希望しない

場合、個人で抽選にかけて

よいか否かを記入。

(松田安修)

予告 山の日施工記念登山 毎日登山の 歴史コースを巡る

開催日…8月7日(日)

集合…諏訪山公園 9時

コース…諏訪山公園→金星台

→ビーナスブリッジ→錨山

展望台→善助茶屋跡→大龍

寺→大師道→灯籠茶屋→

諏訪山公園

参加費…無料

約6km 一般向け

八月の行事予定

▽2日 クライミング実技講習会 登山研修所

▽3日 常任理事会

▽7日 普及委員会：毎日登山の歴史コースを巡る 摩耶山麓

▽6～10日 全国高校総体登山大会 蒜山

▽7日 泳ぐ沢登り講習会 裏六甲

▽9日 クライミング実技講習会 登山研修所

▽13～15日 JOCジュニアオリンピックカップ 栃南市

▽21日 クライミング実技講習会 六甲保塁岩

▽31日 運営委員会

【編集者のツブヤ記】

▽何処か近くで登山を兼ねた有意義な避暑地はないものかと思索していたところ、ある岳人が提案してくれた。「高野三山はどうか。」と。よさそうな案なので、山仲間数人が集い、早速高野山に出かけた。

高野山奥の院を囲んで、北の楊柳山を主峰とし、東西に摩尼山、転軸山が聳える。これらを高野三山と称している。何れも鬱蒼と茂るモミ、トガなど高野六木

に覆われ、至って涼しい。夏とは思われない程である。何れのピークも千円内外であることを思えば、さもあらうなと思ったりする。

驚いたのは、熊注意のお知らせ。初めは「ほんとは「すか」と本気にしなかったが森のお世話人の僧侶の方に聞くと本当であるという。早速、全員鈴と笛、ストックを取り出して、注意深く歩行前進する。ものの四時間足らずで真言密教文化の霊峰のほんの一部を歩き終えることができた幸せな一日でありました。

(松田 安修)

神戸登山研修所 夏季休館日のお知らせ

8月11日(木)～8月17日(水) 夏季休館日といたします。

休館中の緊急連絡先は電話078-987-5828

古賀理事長宅

SINCE 1976 mont-bell アウトドア用品は、お近くの「モンベルストア」へ。 神戸北店 078-983-3337 六甲店 078-811-9555 神戸三宮店 078-327-5455 ALBI大阪駅店 06-6346-7544 マリンピア神戸店 078-708-1170 www.montbell.jp